

令和2年4月	<b>直 播 情 報</b> 第 1 号 (鉄コーティング)	JA 能美 南加賀農林総合事務所
--------	--------------------------------------	---------------------

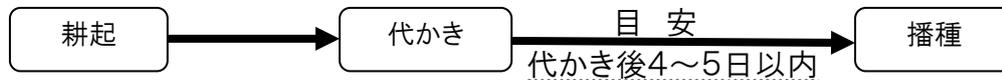
### 1. ほ場の準備・土壌条件

(1) 耕起前に雑草が多発している場合は、茎葉処理剤を散布する。

除草剤名	使用量	散布液量	使用目安
ラウンドアップマックスロード	200ml/10a	50L/10a	耕起前(雑草多発時)
バスタ液剤	300ml/10a	100L/10a	耕起 15 日前 (雑草多発時)

(2) 高低差の大きい圃場は耕起前に土を移動させ、均平にする。

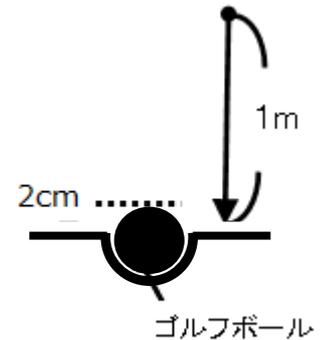
(3) 代かき後、播種までの日数が長くなると雑草の発生が多くなり、除草剤の効果の低下が懸念されるため、代かきは播種日から逆算して行う。



(4) 代かきは、均平化に努めるように丁寧に行い、枕地等の旋回部分は、練らないように注意する。

(5) 播種時の土壌の硬さは移植以上とし、代かきと播種の間隔で調整する。田面の硬さは、ゴルフボールを1mの高さから落下させた場合に田面からの露出高さ2cmを目安とする。

**種子が土壌にもぐると発芽不良となります**



### 2. 播種、初期除草剤の散布

(1) 播種時期は、日平均気温が15℃以上になる時期(平年値 4 月 30 日)。

4 月末～5 月上旬頃を目安とする。

(2) 表面播種となるように注意する。鉄コーティング種子は、土中に埋没すると出芽が不安定となる。

(3) 播種量及び施肥量 (品種:コシヒカリ)

播種量	施肥量	1 回目の除草剤 (播種時または播種直後)
乾粃 3～3.5 kg/10a	BBコシ直播一発くん 20～25 kg/10a	ポデーガードプロ1キロ粒剤 1 kg/10a

(4) 播種方法

浅水状態(2～3cm)で播種する。高速で播種をすると水圧で土壌が種子を覆う恐れがあるので注意する。

※除草剤の散布後は5cm程度の湛水状態とする。

注意: 播種時に鉄コーティングの剥離が発生した場合は、播種機械部品の摩耗が原因と考えられます。作業を中断して、消耗した部品等の交換を行って下さい。

### 3. 播種後の水管理

(1) 播種後～播種7日後

除草効果を高めるため5日間は湛水状態を保ち、その後、自然落水する。

(2) 播種7日後～14日後

自然落水後は、苗立ち数の確保のため7～10日間は落水状態とし、飽水管理で土壌水分を保持する。

## 4. 2回目の除草剤の散布

- (1) 散布する際には、稲及びノビエの葉令を必ず確認する。
- (2) 入水後1日おいて、水が落ち着いてから散布する。
- (3) 薬剤の効果を高めるため、除草剤の散布後3日間は湛水状態を保ち、7日間は強制落水しない。
- (4) 除草剤の使用時期と注意点

### 【除草剤の使用時期と注意点】

	除草剤名	使用量(10a)	使用時期		備考
1 回 目	ポデーガードプロ1キロ粒剤	1kg	播種直後～	ノビエ3.5葉期まで 収穫90日前まで	湛水状態で散布
2 回 目	ベンケイ1キロ粒剤	1kg	稲1葉期～	ノビエ3葉期まで 収穫90日前まで	入水後
	バッチリジャンボ	小包装 10個	稲1葉期～	ノビエ2.5葉期まで 収穫90日前まで	入水後
	シリウスエグザ1キロ粒剤	1kg	稲1葉期～	ノビエ2.5葉期まで 収穫90日前まで	入水後
随 時	レプラス1キロ粒剤	1kg	稲2葉期～	ノビエ4葉期まで 収穫60日前まで	残草した場合

※ 1回目に播種時処理(ポデーガードプロ1キロ粒剤)+2回目の体系処理が望ましい

